

市立小・中・義務教育学校における不登校総合対策「つながるプラン」の策定について

1 報告趣旨

増加する本市の不登校児童・生徒の現状を踏まえ、全ての児童・生徒の社会的な自立に向けた取組を支援するため、市立小・中・義務教育学校において取り組む不登校総合対策「つながるプラン」を策定したことについて報告する。

2 報告内容

(1) 計画の概要 ※計画の詳細については別添「つながるプラン」参照

ア 計画の位置づけ

「八王子未来デザイン 2040」

第3次八王子市
教育振興基本計画

「ビジョンはちおうじの教育」

「9 登校支援の充実」における、施策の方向性

- ア 全市立小・中学校において、不登校児童・生徒に対する早期の登校支援の取組を継続して支援していきます。
- イ 学校支援体制を強化し、不登校児童・生徒をよりきめ細やかに支援します。
- ウ 高尾山学園における個々の不登校児童・生徒に対する適応や転入学の支援の充実を図ります。
- エ 市立小・中学校に「全ての子どもたちが安心して過ごせる学校づくり」に向けた情報を発信します。
- オ スクールソーシャルワーカーに対して助言指導を行うスーパーバイザーを配置し、専門性の向上と対応力の強化を図ります。
- カ 義務教育終了後も継続して支援ができるよう、関係諸機関との連携を図ります。

八王子市立小・中・義務教育学校における不登校総合対策 「つながるプラン」

イ 計画期間

令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）までの5か年

ウ めざす姿

（ア）学びがつながる～魅力ある学校づくり～

「みんなが安心して豊かな生活を送る学校づくりをとおして、学びの継続性を保障します。」

（イ）支援がつながる～支援ニーズの早期把握と組織的対応～

「一人ひとりの不登校児童・生徒の状況と支援ニーズを組織的かつ的確に把握し、最適な相談・指導につなぎます。」

（ウ）社会とつながる～多様な教育機会・居場所の確保～

「学校外の居場所や学びのネットワークにより、様々な支援ニーズをもつ不登校児童・生徒が社会とつながる機会を確保します。」

（エ）未来につながる～社会的自立をめざした中・長期的支援～

「不登校の子どもや保護者の『将来不安』に寄り添い、義務教育修了時の進路選択を最後まで支援します。」

エ 達成目標

（ア）学校内外での専門的な相談・指導等を受けていない不登校児童・生徒を「0」にする【目標達成時期：令和9年度（2027年度）】

（イ）中学校卒業後に希望進路をもつ生徒の進路未決定者を「0」にする【目標達成時期：令和5年度（2023年度）】

（2）策定の背景

ア 令和4年度（2022年度）の市立小・中・義務教育学校における不登校児童・生徒数（暫定値）

（ア）不登校児童・生徒数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,832人（前年比+343人）

（イ）学校内外で専門的な相談・指導等を受けていない不登校児童・生徒数・・・・552人（前年比+106人）

（ウ）中学校卒業後に希望進路をもつ生徒の進路未決定者数・・・・・・・・・・・・・・ 3人（前年比△2人）

イ 「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」（COCOLOプラン）の「目指す姿」と取組内容